

## 外来植物について

市では、外来植物について、在来植物の生態系等に大きな影響を与える恐れがある種類を、市ホームページでの情報掲載やSNSによる情報発信により、注意喚起を実施しています。

外来種（植物）について（小平市ホームページ）

(<https://www.city.kodaira.tokyo.jp/kurashi/087/087984.html>)



～以下、ホームページの掲載内容～

### 【外来種とは】

本来はその地域になく、人間の活動によって他の地域から入ってきた生物のことを指します。

日本には、外来種が植物以外も含めて 2000 種以上いると言われています。クローバーで知られるシロツメクサや、古くに渡来し日本には欠かせなくなっているウメやイチョウなども外来種です。

多くの外来種は、その地域の自然になじめない、限られた地域でしか生活できない、適切に管理されている等により問題にはなりません。一部外来種は、もとからその地域にいる生物の生育環境を奪ったり、遺伝子を汚染してしまうなど、影響を与えてしまう場合があります。

### ○外来種被害予防三原則

外来種の中で、地域の自然環境に大きな影響を与え、生物多様性を脅かすおそれのあるものを、特に侵略的外来種といい、こうした外来種の被害予防に向け、環境省では以下のような「外来種被害予防三原則」を作成しています。

#### 1 入れない

悪影響を及ぼすおそれのある外来種を自然分布域から非分布域へ「入れない」

#### 2 捨てない（逃がさない・放さない・逸出させないことを含む）

飼養・栽培している外来種を適切に管理し「捨てない」

#### 3 拡げない（増やさないことを含む）

既に野外にいる外来種を他地域に「拡げない」

### ○特定外来生物とは

生態系、人の生命や身体、農林水産業へ被害を及ぼすもの、または及ぼすおそれがあるものとして、「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律（外来生物法）」により、国が指定した生物のことを言います。

指定された生物の取り扱いについては、輸入、放出、飼養等、譲渡し等の禁止といった厳しい規制がかかり、必要であると判断された場合は、防除を行う制度が定められています。

### ○生態系被害防止外来種リストとは

侵略性が高く、生態系、人の生命・身体、農林水産業に被害を及ぼす又はそのおそれがある外来種を、国がリスト化したものです。

特定外来生物・未判定外来生物に加えて、規制対象以外の外来種や、国外由来だけでなく国内由来の外来種も対象となっています。

外来生物法に基づく規制の対象となっていない外来種も含まれておりますが、生態系等への被害を及ぼすおそれがあるため、「入れない、捨てない、拡げない」の遵守など、取扱いには注意が必要です。

### 【小平市でみつかった外来種（植物）】

以下は小平市でみつかった外来種（植物）です。

特定外来生物や生態系被害防止外来種リストに選定されている外来種もあるので、ご自宅などでみつけた場合には、駆除や外来種被害予防三原則の遵守などの協力をお願いしています。

外来種	市からの協力依頼
特定外来種	【自宅などでみつけた場合】
オオキンケイギク	駆除のお願い
オオカワヂシャ	
生態系被害防止外来種リスト	【自宅などでみつけた場合】
アメリカオニアザミ	外来種被害予防三原則の 遵守のお願い
セイタカアワダチソウ	
ヒメジョオン	
その他の外来種	
ハルジオン	
ブタクサ	
ナガミヒナゲシ	

## 【特定外来生物】

### オオキンケイギク

特定外来生物に指定されている北アメリカ原産の多年草です。

とても繁殖力が強く、在来の植物の生態系等に大きな影響を与えます。



#### ○特徴

花	葉や茎
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 花の色は黄色で中心も同じ色</li><li>・ 花の大きさは5 cm から 7cm くらい</li><li>・ 開花時期は5月頃から7月頃</li><li>・ 花びらの先はギザギザ</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 葉は細長いへら状の形</li><li>・ 葉の両面には荒い毛が生えています</li><li>・ 茎の高さは30cm から 70cm 程度</li></ul>

#### ○駆除について

外来生物法に基づく規制対象の外来種のため、ご自宅等の敷地において、飛んできた種子などから生えてしまっている場合は、駆除をお願いします。

種子が付く前に駆除を行うか、もしくは種子を落とさないよう駆除を行ってください。

基本的に、生きたままの運搬が禁止されているため、根から抜いて袋に入れ、その場で天日にさらして枯死させるなどの処置をした後に、燃やすごみとして処分してください。

### オオカワヂシャ

特定外来生物に指定されているヨーロッパ～アジア北部原産の多年草です。

湖沼、湧水地、水路など水辺に生育します。

繁殖力が強く、他の水辺植物の生育場所を奪うほか、在来希少種のカワヂシャと自然状態で交雑し遺伝的攪乱が懸念されています。



#### ○特徴

花	葉や茎	その他
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 淡紫色から白色の花を多数つけます</li><li>・ 開花時期は4月頃から9月頃</li><li>・ 花の大きさは5mm くらい</li><li>・ 果実は球形</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 葉は細く、先はとがっています</li><li>・ 茎の高さは30cm から 100cm 程度</li><li>・ 全体は無毛です</li><li>・ 地中を横走する根茎から茎を直立させています</li></ul>	葉が不明瞭で全緑に近いこと、花が鮮やかな青紫色であることなどで、在来種のカワヂシャと区別できます

#### ○駆除について

外来生物法に基づく規制対象の外来種のため、ご自身で管理する敷地において生えてしまっている場合は、駆除をお願いします。

大量の種を作り、8割が発芽するため、花びらがついている間に駆除してください。

基本的に、生きたままの運搬が禁止されているため、根から抜いて袋に入れ、その場で天日にさらして枯死させるなどの処置をした後に、燃やすごみとして処分してください。

## 【生態系被害防止外来種リストの外来種】

### アメリカオニアザミ

生態系被害防止外来種リストに選定されているヨーロッパ原産の多年草です。

繁殖力が強く、ほかの植物の生息環境を奪う危険性があります。



#### ○特徴

花	葉や茎	その他
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 紅紫色の花を咲かせます</li><li>・ 開花時期は5月頃から9月頃</li><li>・ 茎の先に花を数個つけます</li><li>・ 花の大きさは1.5 cmから3cmくらい</li><li>・ 種にはタンポポのような綿毛がついており風に乗って拡散します</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 葉はギザギザで硬く鋭いトゲがあります</li><li>・ 葉以外にも茎や花などにもトゲがあり非常に危険です</li><li>・ 茎の高さは50cmから100cm程度</li></ul>	葉の他に茎や花にもトゲがあること、茎の先に花を複数つけるなどで、在来種のノアザミと区別できます。

#### ○生態系等への被害を防止するために

外来生物法に基づく規制の対象となっていない外来種ですが、生態系等への被害を及ぼすおそれがあるため、「入れない、捨てない、拡げない」の遵守など、取扱いには注意が必要です。

ご自宅等の敷地で駆除する場合は、トゲが硬く鋭いため、長袖・長ズボンを着用し、厚手のゴム手袋や皮手袋をはめて、草刈鎌等で刈り取るか、スコップで周囲の土ごと掘り返してください。株や根が残っていると再生するため、根ごと駆除するのが理想です。

花が咲いているときに駆除した場合は、種子が飛散することもあるので、その場に放置せず、袋に入れて密封し処分してください。

### セイタカアワダチソウ

生態系被害防止外来種リストに選定されている北アメリカ大陸中北部を原産の大型多年草です。

根と地下茎からアレロパシー物質と呼ばれる成分を出し、他の植物の生育を妨げます。

繁殖力・生命力が強いこともあり、繁殖を始めた場所では、何年もしないうちに在来植物の姿がほとんど見えなくなり、自身だけが繁茂する恐れがあります。



#### ○特徴

花	葉や茎
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 黄色い穂状の集合花を咲かせます</li><li>・ 花は茎の上部に多数枝分かれています</li><li>・ 開花時期は9月末頃から11月頃</li><li>・ 秋には綿毛の果実（種子）をつけます</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 葉は先端が尖り、縁には浅くギザギザがあり、表面はザラザラしています</li><li>・ 葉の大きさは5cmから15cm、幅1cmから2.5cmくらい</li><li>・ 高さは1mから2.5m程度</li><li>・ 地下茎と呼ばれる茎が地下にあります</li></ul>

#### ○生態系等への被害を防止するために

外来生物法に基づく規制の対象となっていない外来種ですが、生態系等への被害を及ぼすおそれがあるため、「入れない、捨てない、拡げない」の遵守など、取扱いには注意が必要です。

ご自宅等の敷地で駆除する場合は、地下茎による繁殖が可能のため、根茎から抜き取ってください。

抜き取ることが困難な場合でも、年に2回以上刈り取りを行えば、成長や開花を抑制することができます。花が既に咲いていても、種子ができる前に刈り取れば、種子飛散による他の場所への拡大を防げます。駆除したら袋に入れ、燃やすごみとして処分してください。

## ヒメジョオン

生態系被害防止外来種リストに選定されている北アメリカ原産の越年草です。

強い繁殖力を持つことから、現在では全国的に広がっています。日本の侵略的外来種ワースト100（日本生態学会 選定）にも選ばれています。

繁殖能力が非常に高く、在来種の生育にも影響を及ぼしているとされています。



### ○特徴

花	葉や茎	その他
<ul style="list-style-type: none"><li>外側は白くて内側は黄色い花を咲かせます</li><li>花の大きさは2cmくらい</li><li>茎上部に多数の花をつけ、つぼみは上を向いています</li><li>開花時期は6月頃から10月頃</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>葉は細長くて先さきがとがった形で、ふちがギザギザしています</li><li>葉には表にも裏にも短い毛があって、少しざらつきます</li><li>茎の高さは50cmから130cm程度</li><li>茎の中は空洞ではなくつまっています</li></ul>	<p>ハルジオンと類似していますが、茎が空洞な点や、上部の茎葉が茎を抱く点、つぼみが下を向く点などで区別できます。またハルジオンの花期はヒメジョオンより早いです。</p>

### ○生態系等への被害を防止するために

外来生物法に基づく規制の対象となっていない外来種ですが、生態系等への被害を及ぼすおそれがあるため、「入れない、捨てない、拡げない」の遵守など、取扱いには注意が必要です。

ご自宅等の敷地で駆除する場合は、種子の散布を防ぐため、できる限り種子を付ける前に、抜き取りか刈り取りをしてください。

駆除したら袋に入れ、燃やすごみとして処分してください。

## 【その他の外来種】

### ハルジオン

北アメリカ原産の多年草です。

特定外来生物や生態系被害防止外来種リストには選定されていませんが、日本の侵略的外来種ワースト100（日本生態学会 選定）に選ばれています。

環境適応力と繁殖能力が高く、在来種の生育に影響を与える可能性があります。



### ○特徴

花	葉や茎	その他
<ul style="list-style-type: none"><li>花は白色からピンク色です</li><li>花の大きさは2cmくらい</li><li>茎上部に多数の花をつけ、つぼみは下を向いています</li><li>開花時期は4月頃から8月頃</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>葉は長楕円形またはへら形です</li><li>葉には両面とも柔らかい毛が多いです</li><li>茎の高さは30cmから80cm程度</li><li>茎の中は空洞です</li></ul>	<p>ヒメジョオンと類似していますが、茎がつまっている点や、葉が茎を抱かない点、つぼみが上を向く点などで区別できます。また、ヒメジョオンの花期はハルジオンより遅いです。</p>

### ○生態系等への被害を防止するために

外来生物法に基づく規制の対象となっていない外来種ですが、生態系等への被害を及ぼすおそれがあるため、「入れない、捨てない、拡げない」の遵守など、取扱いには注意が必要です。

ご自宅等の敷地で駆除する場合は、種子の散布を防ぐため、できる限り種子を付ける前に、駆除してください。

除草剤への耐性があり、根が残っているとまた生えてくるため、引き抜きが効果的です。

駆除したら袋に入れ、燃やすごみとして処分してください。

## ブタクサ

北アメリカ原産の一年草です。

特定外来生物や生態系被害防止外来種リストには選定されていませんが、過去に外来生物法で要注意外来生物（現在は廃止されたリスト）に指定されていました。

環境適応力と繁殖能力が高く、在来種の生育に影響を与える可能性があります。

花粉症の原因植物としても知られています。



### ○特徴

花	葉や茎
<ul style="list-style-type: none"><li>花の色は黄色</li><li>花の大きさは2mmから3mm程度</li><li>無数の花が細長く連なって穂をつくる</li><li>開花時期は7月から10月頃</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>茎は高さ30cmから150cm程度</li><li>葉はやわらかく、両側に深く細かい切れ込みがある</li><li>芽の吹く頃はヨモギにも似ている</li></ul>

### ○生態系等への被害を防止するために

外来生物法に基づく規制の対象となっていない外来種ですが、生態系等への被害を及ぼすおそれがあるため、「入れない、捨てない、拡げない」の遵守など、取扱いには注意が必要です。

ご自宅等の敷地で駆除する場合は、種子の散布を防げるため、できる限り種子を付ける前に、抜き取りか刈り取りをしてください。

アレルギー対策のため手袋とマスクを着用し、駆除したらビニール袋に入れて密封し、燃やすごみとして処分してください。

## ナガミヒナゲシ

ヨーロッパ地中海沿岸を原産とする一年草です。

特定外来生物等には指定されていませんが、繁殖力が強く、根や葉から他の植物の成長を抑制するアレロパシー物質を出すため、在来の植物の生態系等に大きな影響を与える恐れがあります。



### ○特徴

花	葉や茎	その他
<ul style="list-style-type: none"><li>花の色はオレンジ</li><li>花の大きさは2cmから5cm程度</li><li>開花時期は4月から6月頃</li><li>花の後に2cm程の実をつけ、1つの実の中に約1600個の種子を有する</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>茎の高さは20cmから60cm程度</li><li>葉はタンポポのように根際から円形状に広げてつける</li><li>葉は羽状に深く裂けている</li></ul>	アルカイド性の有害物質を有するため、素手で触るとかぶれる恐れがあります。

### ○生態系等への被害を防止するために

外来生物法に基づく規制の対象となっていない外来種ですが、生態系等への被害を及ぼすおそれがあるため、「入れない、捨てない、拡げない」の遵守など、取扱いには注意が必要です。

ご自宅等の敷地で駆除する場合は、種子が付く前、もしくは種子を落とさないよう抜き取りか刈り取りをしてください。

触れると手がかぶれる等の症状が出る可能性があるため、駆除作業を行う際はゴム手袋などを着用してください。

花が咲いているときに駆除した場合は、種子が飛散することもあるので、駆除したらビニール袋に入れて密封し、燃やすごみとして処分してください。

種子がこぼれると未熟な種子からでも発芽する場合があります。